

1 教科の目標

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。 (知識及び技能)
- (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 (思考力・判断力・表現力等)
- (3) 主体的に美術活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。 (学びに向かう力、人間性等)

2 学習計画

	学習内容	学習のねらい
一学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション 一年間の学習の流れを理解する</li> <li>・身近なものを描こう 自分らしさを引き出す構想の練り方、構図の工夫、色彩のもつ感情と効果</li> <li>・日本の文化財鑑賞 日本の文化財や仏像を鑑賞し、修学旅行へ向けて日本文化や良さを知る。</li> <li>・ステンシル 版画の基礎について学び、連続や反転を生かした作品のアイデアスケッチを仕上げる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一年間の学習の流れを理解する。 学習意欲を喚起する。</li> <li>・対象から感じ取ったよさや美しさから発想し、身近なものから創造的な構成を工夫し、心豊かに表現することができるようにする。</li> <li>・京都・奈良の世界遺産や文化財に触れ、日本文化のよさを味わわせる。</li> <li>・版画の仕組みを理解させ、技法を生かし、工夫した作品制作ができるようにする。</li> </ul>
二学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ステンシル カッターで丁寧に切り抜き型紙をつくる。アクリルガッシュを扱い、美しく仕上げる。</li> <li>・空間と響き合う立体 作品と空間の響き合いを意識した作品のアイデアスケッチを仕上げる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・版画の仕組みを理解させ、技法を生かし、工夫した作品制作ができるようにする。</li> <li>・身近な空間に目を向けさせ、豊かで楽しい生活を目指した環境に対する発想・構想を工夫させる。</li> <li>・アイデアの内容に応じて見る立場を尊重しデザインに発展させる。</li> </ul>

三 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空間と響き合う立体 様々な材料を組み合わせてイメージに合った立体作品を仕上げる。 空間に設置し、写真や動画の撮影を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な空間に目を向けさせ、豊かで楽しい生活を 目指した環境に対する発想・構想を工夫させる。</li> <li>・アイデアの内容に応じて見る立場を尊重しデザ インに発展させる。</li> <li>・発表することを通して互いの作品のよさや個性 に気付かせ、よりよい鑑賞の態度を育てる。</li> </ul>
-------------	---	---

### 3 評価の観点、資料、方法

評価の観点	評価の資料、方法
知識・技能	授業内の発言・様子、ワークシート、実習での技能 制作品、作品カード
思考・判断・表現	授業内の発言・様子、ワークシート、制作品、作品カード
主体的に学習に取り組む態度	授業態度、ワークシート、振り返りカード、制作品を総合的に絡 めて評価